

2013
夏休み前充実企画!



道民教 初夏の学習会 小樽

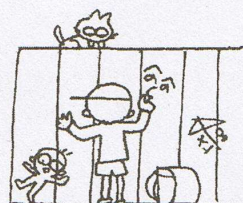
●運動会も終わり1学期も終わりが近づいてきますね。忙しい日々が続いていると思います。「学力向上」「時数確保」「進捗」という言葉が先生方の体や心を堅くしていませんか?子どもたちには、「はやく」「しっかり」「ちゃんと」という言葉が多くなっていませんか?毎日追われるように過ぎていく時間の中で、子どもたちの心が見えているでしょうか。子どものサインが先生の心に届いているでしょうか。子どもも先生もほっとしたい、安心して毎日を過ごしたいですね。

●今回は、札幌と帯広で、「荒れた」クラス、「たいへんな」子どもたちを担当し、悪戦苦闘しながら、子どもたちが変わっていく、ステキな姿を見せてくれるようになったお二人の先生に報告していただき、保健室の先生という立場で「教室の外の目から見える子ども」を語っていただき、違う見方、違う迫り方の中にいったい「どんな共通点があるのか」「子どもは何を求めているのか」を参加者のみなさんと探っていきたいと考えています。

●小樽の高台から眼下に海を眺めながら、一緒に学び合ってみませんか。

教育・学校の困難と希望

～子どもたちの姿と教育実践から探る～



6月29日(土)

13:00～(受付12:45～)

13:10～ 実践報告

共育の森学園 (旧・小樽短大)

〒047-0021 小樽市入船4丁目9-1

TEL 0134-27-4600

参加費

800円

日程・内容

「荒れた子どもたち、学級の子どもたちとどう向き合ったか」

～困難な学級・厳しい子どもの姿とその変化～

◆報告1◆ 渡邊衣恵 さん (札幌・小学校教員 札幌作文の会)

◆報告2◆ 山本 純 さん (帯広・小学校教員 全国生活指導研究会)



14:30～16:00 実践検討シンポジウム「子どもが学級が変わったのはなぜか？」

◆教室の外から◆ 齋藤由利子 さん (札幌・中学校養護教諭 北海道保健サークル連絡協議会)

◆報告者◆ 渡邊衣恵 さん 山本 純 さん

◆フロア◆ 参加者みなさん

●コーディネーター 前田賢次 さん

(北海道教育大学札幌校教授 道民教研究副委員長)



■申し込み ※事前申込がなくても当日参加できます

下記主催者(道民教)連絡先に、氏名・住所・電話・勤務先名を連絡してください。締め切りは、6月27日(木)です。

主催
北海道民間教育研究団体連絡協議会(道民教)
Fax 011-378-9746
E-mail: ittetu@alpha.ocn.ne.jp
太田 一徹 本通小学校(011-861-8196)
携帯 090-9752-3655(太田)

「道民教」って?

北海道民間教育研究団体連絡協議会の略で、北海道の教職員や大学の研究者による教科ごと(国語、算数など)や問題ごと(生活指導・障害者問題など)の研究サークルや、保護者や地域住民など教育に関わる人も参加した民間の研究団体の集まりです。各サークルや団体ごとに、学習会や研究会、講演会などを開いて、子どものことや教育問題、授業づくりなどを学習しています。たくさんの地域で、多くの人が気軽に参加しています。もちろん、会員になると、定期的な例会でもっとより深くそれぞれの問題を学習できます。